

自治体名	立川市				
地域未来塾名称	立川市地域未来塾補習教室				
実施場所(個所数)	■学校：小学校 19校				
対象学年	■小学生(全学年)				
学習支援員数	122人	■大学生 ■教員OB ■地域住民			
対象教科	国語	○	算数	○	英語
	その他				
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用	有	
<p>【実施規模】(※学校により、回数、曜日、時間帯が異なる) ■実施回数：年約30回(週1回程度) ■実施曜日(月曜日～金曜日) ■時間帯14:00～17:00(1～3時間程度)</p> <p>【運営体制・方法】 各学校とも、概ね週1回程度実施。教材は、主にベーシックドリルを活用。教員を目指す大学生や教員OB、地域住民が学習支援員として個別に学習支援を行う。</p> <p>【成果・課題等】 ・児童が基礎的・基本的な学習内容を身に付け「できた・わかった」を実感し、学習への意欲も高めることができた。 ・児童の学習習慣を定着させる一助となった。 ・学習支援員と学校の教員とが、児童の実態や学習状況について詳しく情報共有している学校は、成果をあげている。この事例(成果)を広く市内の学校に広め、普段の学校の指導と補習教室との連携をより一層図っていくことが今後の課題である。</p>					

地域未来塾名称	立川市地域未来塾補習教室				
実施場所(個所数)	■学校：中学校9校				
対象学年	■中学生(全学年)				
学習支援員数	82人	■大学生 ■教員OB ■民間教育事業者 ■地域住民			
対象教科	国語	○	数学	○	英語
	その他	社会・理科 必要に応じてその他の教科の学習支援あり。			
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用	有	
<p>【実施規模】(※学校により、回数、曜日、時間帯が異なる) ■実施回数：年約25回(週1回程度) ■実施曜日(月曜日～土曜日) ■時間帯8:30～12:00・14:30～18:00(1～3時間程度)</p> <p>【運営体制・方法】 各学校とも、概ね週1回程度実施。教材は、主にベーシックドリルを活用。教員を目指す大学生や教員OB、民間教育事業者、地域住民が学習支援員として個別に学習支援を行う。定期テスト対策や普段の授業内容の復習の支援も行う。</p> <p>【成果・課題等】 ・定期的に補習教室を実施することにより、生徒が授業で学習した内容を復習し、確実に理解することができるようになった。 ・定期テスト前には、国語・数学・英語に限らず、社会や理科についても生徒のニーズに応じ学習支援員が個別指導を行った。 ・実施時期や実施回数が学校により異なる。生徒の要望する時期、回数、内容を踏まえて補習教室を実施すると、より充実した補習教室になると考える。</p>					

自治体名	立川市				
地域未来塾名称	立川市地域未来塾学習教室				
実施場所(個所数)	■学校：小学校 19 校				
対象学年	■小学生（5年）				
学習支援員数	14人	■（民間教育事業者）			
対象教科	国語		算数	○	英語
	その他				
ICT活用有無	無	東京ベーシックドリル活用		無	
<p>【実施規模】（※学校により、回数、曜日、時間帯が異なる）</p> <p>■実施回数：年約 15 回（週 1 回程度） ■実施曜日（月曜日～金曜日）</p> <p>■時間帯 13：20～17：00（1 時間程度）</p> <p>【運営体制・方法】</p> <p>民間教育事業者に委託し、講師の配置や当日運営を実施。各学校とも、概ね週 1 回程度実施。教材は、民間教育事業者の独自開発のテキストを活用（備付け教材）。講師が思考力・判断力・表現力を育てる学習支援を行う。</p> <p>【成果・課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟の程度に応じた学習問題に取り組ませることができた。 ・受講を希望した児童が参加しているため、非常に意欲的に学習に取り組んだ。 ・指導者が児童一人ひとりの状況に応じ、きめ細かく指導することができた。 ・平日の放課後の実施で、児童の下校時間が 17 時頃となり、冬季は周りが暗くなる中での下校となった。実施日について学校と協議し、児童が安全に下校できる時間帯で本教室を実施することが課題である。 					